

## 春合宿ディベート報告

議題 A : (小学校教育で、英語教育を重視すべきか、国語教育を重視すべきか)

1 班 : ( 22 ) 期      2 班 : ( 23 ) 期

### 【形式】

1 班 第一立論	5 分
質問	3 分
2 班 第一立論	5 分
質問	3 分
作戦タイム	2 分
1 班 第二立論	5 分
質問	3 分
2 班 第二立論	3 分
質問	3 分
話し合い	10 分
2 班 反論	5 分
1 班 反論	5 分
作戦タイム	2 分
2 班 最終弁論	5 分
1 班 最終弁論	5 分

計 66 分

【論点整理】

①

1 班	2 班
<p>立論①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の耳が受ける周波数の関係上、小学校段階で英語に触れることが適切である。</li> </ul> <p>質問①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・”伝える”能力を高めるためには英語を学ぶことが必要なのでは？</li> <li>・どういった学習で国語力は向上するのか？</li> <li>・普段とは違う教育とは、具体的にどんなものか？</li> </ul>	<p>立論①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語が全科目の基盤となる。現在、国語力が低下しているため、国語教育に注力すべきである。</li> </ul> <p>質問①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週にどのくらい英語を勉強すればよいのか？</li> <li>・幼児期に英語を勉強したら忘れづらくなることの根拠は？</li> <li>・現在の ALT の質では小学生の英語力は向上しないのでは？</li> <li>・ALT の数を増やすことは容易だが、どうやって小学生の英語の関心を高めるのか？</li> </ul>

②

1 班	2 班
<p>立論②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語は世界的に強い言語である。世界で 4 人に 1 人は英語を使っている。</li> <li>・国際的舞台で活躍している</li> </ul> <p>質問②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『ごんぎつね』に使う 17 時間のうち、わずかを英語にあててもいいのでは？</li> </ul>	<p>立論②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の授業を設けるのであれば、国語の授業数を増やし、国語力の向上につなげるべき。</li> </ul> <p>質問②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ小学校から英語を勉強することが大切なのか？</li> <li>・小学校の ALT の授業で中学生になってか</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書離れの改善は学校の授業として行うのか？</li> <li>・読書を強制したら、読書嫌いな小学生が増えるのでは？</li> </ul>	<p>ら生かされたことは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週に 1.5 時間で英語が身につくのか？</li> <li>・小学生で学ぶ英語は小学生レベルの英語なので、将来的に使えないのでは？</li> <li>・確かに国際的舞台で英語は活躍しているが、自分の思いを組み立てるのは日本語ではないのか？</li> </ul>
--	--

③

1 班	2 班
<p>反論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語教育を重視する＝教育の質を高めると考えるべき。英語を小学生から学んでも妨げにはならない。</li> </ul> <p>最終立論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語を疎かにするとは言っていない。中学生から英語を始めるのでは受験としての英語しか学ばず、コミュニケーションとしての英語を学ぶには時間が足りない。</li> <li>・国語と並行して英語を勉強しても、国語の学習に支障は出ない。</li> </ul>	<p>反論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耳を慣らしたとしても、英語を使えるようにはならない。</li> <li>・中途半端に英語に触れるくらいならば、日本語を完璧にするべき。</li> </ul> <p>最終立論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC のスコアを 500 点から 730 点にするには 2000 時間かかる。</li> <li>・今のままでは英語教育の量も質も不足しているので、国語に重点を置くべきである。</li> </ul>

--	--

**【勝敗】**

( 2 班 ) 側の勝ち

理由 :

- ・主張に対する裏付けがあったかなかったかの差
- ・テーマに沿って一貫性を持ち議論を進められたかどうかの差
- ・主観による発言ではなく、データを基に発言できたかどうかの差
- ・発言が、聴衆に伝わりやすい構成になっていたかどうかの差

**【反省点・次回課題】**

- ・具体例や数字を用いるとより説得力が増す。
- ・話を聞くときの姿勢を正す、肘はつかない、私語はしない。
- ・チーム内で時間の管理をする。
- ・原稿を読み上げるのではなく、要点を絞って分かりやすく相手に伝えるよう努める。

**議題 B : ( 成人年齢を 18 歳に引下げます。そこで、酒もたばこも 18 歳に引き下げるか否か )**

1 班 : ( 22 ) 期      2 班 : ( 23 ) 期

**【形式】**

1 班	第一立論	5 分
	質問	3 分
2 班	第一立論	5 分
	質問	3 分
	作戦タイム	2 分
1 班	第二立論	5 分

質問	3分
2班 第二立論	3分
質問	3分
話し合い	10分
2班 反論	5分
1班 反論	5分
作戦タイム	2分
2班 最終弁論	5分
1班 最終弁論	5分

計 66分

【論点整理】

④

1班	2班
<p>立論①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・18歳が成人という仮定の下なので、成人という以上自己責任である。また、たばこ・酒の公認販売による経済効果が期待できる。</li> </ul> <p>質問①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・18歳までに身体的成長はほぼ終了しているので、健康被害は支障をきたさないのでは。</li> </ul>	<p>立論①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20歳以上よりも未満の方がたばこによる健康被害が高く、それは数値でも明らかになっている。</li> </ul> <p>質問①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済効果の具体的な数値はどうか。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生でも自己判断ができるのではないか。</li> </ul>	
---	--

⑤

1 班	2 班
<p>立論②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状で、20 歳という法律は機能していない。海外では（体格が似ている中国・タイ）では 18 歳で飲酒可能。</li> </ul> <p>質問②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層へ影響するという具体的根拠はあるのか。義務教育で教えれば高校生でも自己管理できるのでは。</li> <li>・実際の大学 1, 2 年生はどうなのか。</li> <li>・15~17 歳（高校生）は金銭的にも余裕がないので、若年層への影響は少ないのでは。</li> </ul>	<p>立論②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期喫煙はがんにかかるリスクが高い。また、規定年齢が下がるほど。さらに若年層への影響がある。</li> </ul> <p>質問②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国・タイなどとは文化が違うから関係ないのでは。</li> <li>・今の義務教育でも教育を受けているはずなのに、守れていない人もいるので、義務教育でどうにかなるといえるのは違うのではないか。</li> <li>・</li> </ul>

⑥

1 班	2 班
<p>反論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康被害というが、18 歳で身体は成熟している。また、成人＝自己責任がある＝18 歳という仮定なので 18 歳に合わせた方が楽である。タバココミュニケーション・ノミネーションもある。</li> </ul> <p>最終立論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも飲酒・喫煙は悪影響を及ぼすだけでなく、人脈や考え方などが豊かになる。また、低年齢化に関しては、逆に 22 歳に設定</li> </ul>	<p>反論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状で 20 歳なのは、健康的理由があつてそうであり、18 歳ではメリットがない。また、若年層への影響によって喫煙・飲酒の低年齢化が進む。</li> </ul> <p>最終立論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データを持ってして、18 歳へのあらゆる被害はあると言える。また、20 歳の現状ですら曖昧なのに 18 に下げるとさらに悪化す</li> </ul>

しても飲酒・喫煙をする 18 歳・19 歳は変わらないのでリスクは同じである。自己責任が持てるのならば成人年齢と同じく 18 歳にすべきだ。	る。さらに、低年齢化による学力低下も予想されるので、世論は 18 歳の飲酒喫煙に賛成しないと思われる。
--	---

#### 【勝敗】

( 1 班 ) 側の勝ち

理由 :

- ・ 1 班は一貫性があり、論理の構成やマナーにおいて経験が上回っていた。
- ・ 2 班はチームプレイという面で上手く回っておらず、また、話し方にまだ経験値が足りなかった。せっかくあるデータも生かしきれてなかった。

#### 【反省点・次回課題】

両チームとも話がずれて行きやすかったので、軸をぶらさずに話を進めていければよかった。データがよくてもその使い方を間違えると意味がないので、切り札のタイミングも考えていくと尚よい。

1 班の一貫性と 2 班の情報力の両面を各チームが合わせもてるようにしていくのが課題であるといえる。